

青少年健全育成市民会議を開催

自己を築き自立する力を培おう！

次代を担う青少年が、心身ともにたくましい生きる力をもって、人間性豊かな社会人として成長することは、市民すべての願いです。そのため地域や学校、家庭など社会全体が何をしなければならぬのかを共に考えようと「南あわじ市青少年育成市民会議」が7月8日、西淡公民館大ホールで約300人が参加して開催されました。

会議では、「国立淡路青少年交流の家」所長の田中裕幸さんが、「冒険教育現場から見えてくる子どもたちの姿」と題して講演。田中さんは「キャンプや研修の場での若者や子どもたちの言動からも、人とのコミュニケーションがとれない、また、自



▲会議では、まちをあげて「あいさつ運動を展開しよう」と決議宣言をされました

己表現がうまくできない人が多く、そこから引き起こされる様々な問題が、表に出て深刻化している。それは、個人が原因でもあり、家庭や学校、地域、社会の教育力低下も原因となっている。大切なのは「自分自身と向き合い自

元気だそう！商い応援振興券



▲7月7日の記者発表の会場にて。中田市長(左)と志智商工会長(右)

厳しい景気が続くなか、市と商工会は7月23日から「元気だそう！商い応援振興券」を発売しました。この振興券の発売は今回で4回目。市内の商業者、また市民の購買意欲を後押しできればと今回の

分の思いに結論を出す」「他人に伝える表現力を培い、自らの結論に従い行動する」そして「その結果には責任をもつ」といった自己を築き、自立する力を身につけさせる教育を、様々な機会で行っていくことです」と話しました。

販売に至りました。販売総額は2億円。振興券は10%のプレミアムがついており、プレミア分の200万円は市が負担しています。額面1000円で1セット11枚綴りを1万円で購入しました。振興券は市内の商工会加盟店約640店舗で利用できます。有効期限は8月から来年1月31日まで。購買意欲が高くなるお盆や正月にも使ってもらえるよう期間を設定しています。

中田市長は、「振興券の販売は毎年好評で、今年も多くの支持を受けて今回の販売に至った。額面以上の効果を期待しており、地域がさらに活性化してくれば」と期待を寄せていました。

下水道への理解と早期接続をお願いします

早期接続をお願い申し上げます。

下水道加入促進課では、7月に多くの市民が訪れる市内の大型ショッピングセンターで、下水道に早期接続していただくための啓発活動を行いました。また、6月には、市内17校の小学4年生約470人を対象に「集浄化センター」で「下水道出前講座」を開催しました。私たちが使用した水が下水道施設できれいな水になる仕組みや下水道が果たす役割について学んでもらうことができました。



▲小学4年生を対象に「下水道出前講座」を開催(賀集浄化センター)



▲市内大型ショッピングセンターでの啓発活動

義援金

市と社会福祉協議会では、東日本大震災の被災地復興支援のため義援金を受け付けています。

- ① 個人・団体 317件 1832万6293円
 - ② 義援金箱 213件 486万4208円
- 義援金総額※7月15日現在 2319万501円
- ☎ 44・3007

全域に咲かせよう市の花「日本水仙」

市の花「日本水仙」を市内全域いっばいに咲かせようと約10万個の球根を無料配布する取り組みで、球根掘り出し作業が行われました。

7月11日、炎天下の中で、市の花づくり協会や灘地区自治会のメンバー約40人が、文化体育館近くの資材置き場で丁寧に掘り出し、コンテナに入れていきました。

この日は約5万個を掘り出し、すでに掘り出した5万個と合わせて、3か月間乾燥させた後、この6月に希望を受けた市民に配布するほか、灘黒岩水仙郷および灘周辺にも



▲7月11日、炎天下の中で5万個の球根を手作業で掘り出し



▲掘り出された球根



▲市の花「日本水仙」

以前から市内各地で球根が鹿や猪に食べられる被害が出ているなかで、今回掘り出されたのは、阿万バイパスが一部開通した11年前に、地元の人たちが同道路沿いに水仙郷から分球して定植した貴重な球根です。管理上の都合から今年6月にバイパス道の花壇から文化体育館近くの場所に土としっかりとトラックで運び保管していました。

この冬には、これら球根一つひとつが市民の手によって大切に育てられ、美しい花を咲かせた光景が市内各地で見られることを願っています。

淡路人形浄瑠璃後継者団体発表会

伝統の技と心をいつまでも



▲今年で28回目の歴史ある後継者団体発表会、オープニングの三味線合同演奏

500年の歴史を誇る淡路人形浄瑠璃。その伝統の灯を絶やさないよう小中高生や社会人のグループが日夜練習に励み、日頃の練習成果を披露する後継者団体の発表会が7月17日、三原公民館で開催されました。

市内から福井子供会、市小学校、南淡中学校、三原中学校、淡路三原高校、青年研究会、芸舞組の7団体が熱演。また、徳島県から勝浦高校民芸部、京都府から和知人形浄瑠璃会、和知中学校が参加して演目を披露しました。いざいざと息の合った人形遣いと情感の表現に客席からは大きな拍手が送られていま



▲徳島県から勝浦高校民芸部が出演

ふるさと南あわじ応援寄附金 (7月16日現在)

区分	件数	金額
南あわじ市内	395件	53,439,719円
市外(島内)	53件	7,301,000円
市外(島外)	237件	29,164,940円
合計	685件	89,905,659円

詳細は市のホームページに掲載しています



▲京都府から和知人形浄瑠璃会、和知中学校が出演

ふるさと納税

ふるさと納税